



令和6年度南三陸町地域おこし協力隊募集案内

令和6年3月
南三陸町企画課

1 南三陸町の概要

南三陸町は、宮城県北東部に位置する人口約12,000人の町です。三方が山に囲まれ、一方が海に面する地形は、町に降った雨が全て町内の山や大地を通り、川を通じて里に流れ、そして、志津川湾に注ぐという豊かな自然の恵みをもたらします。当町では、これを守り、活かす林業や漁業などの産業が発展してきました。

しかし、平成23年3月11日に東日本大震災が発生し、当町は甚大な被害を受けました。震災から12年が経過した現在、全国・全世界の皆さまからの力に支えられ、確実に当町の復興は進んでいますが、震災によって、人口減少や少子高齢化等の問題も加速しています。

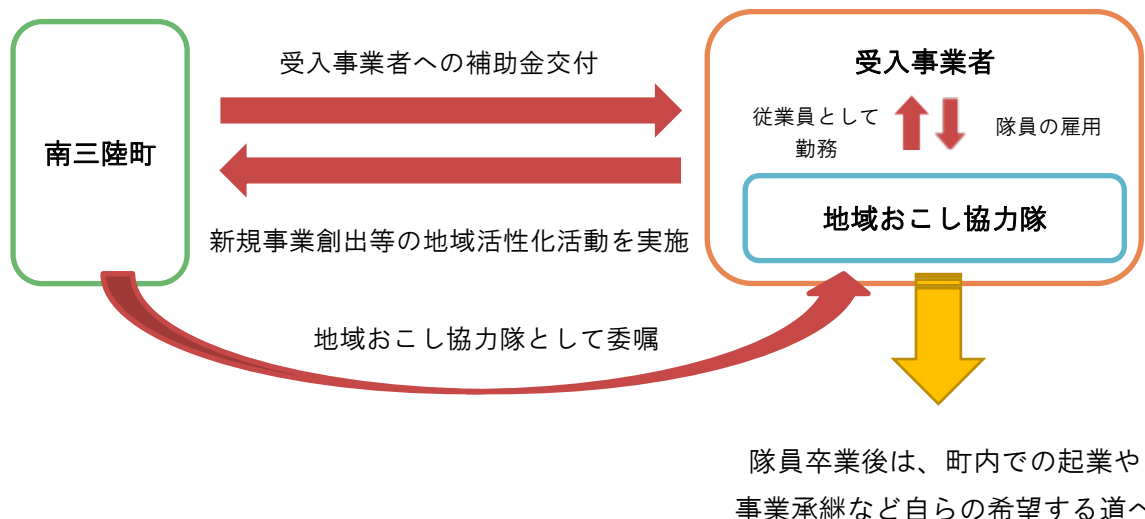
こうした中、当町では、創造的復興を成し遂げ、持続可能な地域社会を構築していくために、「森 里 海 ひと いのちめぐるまち 南三陸」を将来像として掲げ、地域・住民・行政が一体となって新しいまちづくりに取り組んでいます。

2 南三陸町地域おこし協力隊の概要

地域おこし協力隊とは、地方自治体からの委嘱を受け、地域の魅力発信や特産品の開発、住民の生活支援など、さまざまな方向から地域を活性化させる活動に取り組む都市部からの移住者です。現在、多くの地方自治体が協力隊の受け入れを行っており、その運用方法は自治体によって異なります。

南三陸町では、上記に掲げる町の将来像の実現に向け、新しい視点で地域の活性化に取り組んでいただく人材が必要と考え、協力隊を受け入れています。また、移住者である隊員が地域の生活になじむことができるよう、また、起業・事業承継に向けたノウハウを学びながら地域活性化活動に取り組めるよう、町内で活動している事業者・団体が隊員の方を雇用する形をとっています。

図：南三陸町地域おこし協力隊制度の概要



3 募集の内容

令和6年度南三陸町地域おこし協力隊員として、以下の内容で活動に取り組む方を募集します。

事業名	ワーケーション等交流促進事業プロジェクト
活動内容	<p>① ワーケーション受入態勢整備及び事業促進業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適なワーケーション機能の充実した環境整備及び事業促進 ・南三陸ならではのワーケーション（休暇）につながる地域資源の掘り起こし及び地域の受入態勢整備 ・リモートワークによる二拠点生活（移住）を想定した環境づくり <p>※ワーケーションとは：「Work」と「Vacation」を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間も過ごすこと。</p> <p>② 学校、企業、地域が連動する交流型振興事業の促進業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの事業活動でつながったネットワークを生かし、教育旅行やリカレント教育、インターンシップなどの研修プログラムの拡充（グローバル人材アカデミアの構築） ・新たな交流ビジネスにつながる戦略的な交流事業を促進し、地域の活性化及びネットワークの拡充 ・スポーツ合宿などを置一木ぐるみで受け入れる態勢づくり <p>③ 里山体験ランド構想の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入谷地区を核に、学びと想像力を高める交流型の「居心地のいい国」をつくる構想プランの取り組み（別添事業計画書参照） ・地域内外の受入態勢づくりは、入谷の里山活性化協議会が中心となり、関係者の連携を深めながら展開していく。（その協議会の事務局を担う。） <p>※里山体験ランド構想は、様々な事業を展開し、人と人とのつながりを強め、活力のある地域をつくることを目的としている。</p>
目標	<p>【事業目的】</p> <p>① テレワークの浸透による働き方の多様化も踏まえ、場所にとらわれない柔軟な働き方としてワーケーションを普及させることにより、新たに都市から地方への人の流れを生み出すきっかけをつくること。併せて、移住促進（二拠点生活）にもつなげていくこと。</p> <p>② 学校や企業、地域が連動する交流型振興事業を推進するとともに、スポーツ合宿や防災学習など、南三陸ならではの宿泊研修事業を促進し、地域全体の経済・波及効果を図っていくこと。</p> <p>【期待される効果】</p> <p>① ワーケーションは、より多くの旅行機会の創出や旅行需要の平準化につながることに加えて、働く場所の自由度を高めるという点で、起業の働き方</p>

	<p>改革をはじめとする経営課題解決への寄与、地方創生等にも資する取組になっていく。</p> <p>② これまでのつながりを活かし、更に南三陸にどっぷりはまる仕掛けをすることにより、様々な交流が生まれ、南三陸ファンとしての関係性が深まり、将来の移住へもつながっていくことが期待される。</p> <p>③ スポーツ合宿等の団体受入が増大かつ定着すれば、各宿泊施設の売上を伸ばし、地域全体の波及効果につながり経済効果が期待できる。</p>
受入事業者	一般社団法人南三陸研修センター
雇用契約	契約社員
雇用期間	採用から3年間
採用条件	<p>■就業場所 宮城県本吉郡南三陸町入谷字鏡石5番3 南三陸研修センター</p> <p>■学歴 大学・大学院もしくは短期大学・専門学校卒業</p> <p>■年齢 不問</p> <p>■就業時間・休日 (就業時間) 基本9時から18時(うち休憩60分あり) また、フレキシブルタイムの適用あり (休日) 基本4週8休のシフト勤務 (その他) 業務の内容によっては、土日祝日の出勤、21時頃まで勤務あり (副業) 可</p> <p>■給与・手当 (給与) 180,000円~220,000円 (賞与) あり (保険・手当等) ・雇用保険、健康保険、厚生年金保険、労災保険の適用あり ・通勤手当あり・住宅手当あり</p> <p>■必要な経験・免許・求める人材など ・普通自動車運転免許 ・パソコン操作可能な方 (Word・Excel・illustrator) ・研修事業に関心を持ち、何事も前向きに取り組める方 ・ホームページやSNSなどの情報発信に興味のある方 ・交流対象者や地域の人等とのコミュニケーション力を高めようと思っている方 ・固定観念にとらわれず柔軟に対応できる方</p> <p>※詳細は、受入事業者の求人票を参照してください。</p>

募集人数	1名
備考	南三陸町地域おこし協力隊員としての委嘱は町長が行い、その委嘱期間は、委嘱の日から令和7年3月31日までとします。 ※活動状況等を勘案し、年度単位での更新により委嘱の日から3年まで延長することが可能です。

4 応募要件

- (1) 令和6年4月1日時点で、満20歳以上の方。
- (2) 総務省が定める「地域おこし協力隊員の地域要件」に該当する地域にお住まいで、当町へ住民票を異動する意思を有する方。
- (3) 心身ともに健康で、当町の活性化に積極的に活動できる意欲を有する方。
- (4) 協力隊としての活動終了後も町内に定住し、起業、就業又は事業承継する意志のある方。
- (5) その他受入事業者が別途定める応募要件に合致する方。
- (6) 地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条に規定する欠格条項に該当しない方。

地方公務員法第16条に規定する一般職員の欠格条項

- 1 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 2 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から二年を経過しない者
- 3 人事委員会または公平委員会の委員の職にあつて、第六十条から第六十三条までに規定する罪を犯し、刑に処せられた者
- 4 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

5 選考

応募者の方に対しては、以下のとおり選考を実施します。

種別 選考内容	対象者	選考内容	日時	結果発表
書類選考	応募者	書類審査		選考実施日から 概ね1週間
一次面接 (受入れ事業者)	書類選考 合格者	面接審査	事業者から連絡	
二次面接 (町)	一次選考 合格者	面接審査 (30分程度)	一次選考合格者と調整 の上で決定します。	

※ 二次面接は南三陸町役場本庁舎内で実施します。現地までの交通費等は応募者の負担となります。

6 応募方法

応募を希望する方は、応募期間内に以下の書類を郵送又は直接お持ちください。

- (1) 令和6年度南三陸町地域おこし協力隊応募用紙
- (2) 住民票の写し

※ 持参の場合の受付時間は、土日祝日を除く午前9時から午後5時までです。

7 提出・問い合わせ先

南三陸町企画課企画情報第1係

〒986-0725 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田101番地

電話：0226-46-1371

FAX：0226-46-5348

E-Mail：plan-ict@town.minamisanriku.miyagi.jp